

平成29年第1回松田町議会臨時会

行政報告

平成29年10月5日

松田町長 本山博幸

最初に、9月10日に執行されました町長選挙におきまして、再び町民の皆様からのご信託をいただき、引き続き町政経営を担うこととなりました。9月25日には2期目の初登庁を迎え、改めて身の引き締まる思いであります。

本臨時会は、2期目に入り最初の議会ということになりますので、今後4年間の行政経営に向けての所信を述べさせていただきます。

改めまして、このたび町民の皆様の信託を受け、松田町長として2期目の町政経営を担う事になりました。これまでの4年間、常日頃から町政に対しご支援賜り、次の4年間に向けご期待いただいた町民並びに議員の皆様には、感謝申し上げます。また、初当選以来、4年間の町政経営におきまして、様々な立場においてご指導ご鞭撻を賜りました事、心から厚く御礼、感謝申し上げます。

初当選後、松田町には様々な課題が存在していることがわかり、1期4年の間に解決に向け、短期・中期・長期に分け対策を講じ、また準備を進めてまいりました。課題の1つに松田町は、全国的なスピードより約3、4年ほど早めに超高齢社会を迎え、少子化もあり人口減少が慢性的に続いていま

したが、その様な中、平成26年5月に民間団体である国立社会保障・人口問題研究所より出された資料、いわゆる「増田レポート」により、全国約1800の市町村のうち約半数にあたる896市町村が消滅可能性都市として名指しされ、県内においても9自治体で、その内の6自治体が県西地域であり松田町も含まれる結果となりました。

その後地方の活性化が不可欠であることから、“地方創生”が叫ばれるようになり、わが松田町もその動きに遅れることなく地方創生に必要な人口減少抑制策を講じるべく約35年後の平成52年度の人口推計を社会人口問題研究所が示す7,055人よりかなり高い目標数値として10,000人を掲げ、地方創生地域再生計画をもとに様々な対策と必要な種をまいて参りました。その間、町民並びに議員の皆様のご協力を賜り様々な事業を展開して来た事が功を奏し、減少カーブが緩やかになってまいりました。

今後、さらに人口減少を抑制するためには、人口動向について自然増減、社会増減の二つに区分し、明確な対策として、次の施策が必要と考えています。自然減少を抑制するためには、健康寿命の延伸による元気な高齢者の増加。出生率を上

げるために、安心して産み育てられる子育て環境の充実。また、社会減少を抑制するためには魅力ある住宅環境整備。雇用と賑わいの創出による魅力の向上などを推進することが人口減少抑制に繋がる事が判りましたので、その上で、政策の3本柱として「福祉の充実・安全安心」「雇用と賑わいの創出」「人を育てる」を掲げた次第です。

現在、松田町の高齢化率は約32.6%となっており、65歳以上の方を生産年齢人口世代の方が概ね2人で支える事になっている状況であります。高齢化率は、平成52年までは上昇すると推計されていますので、今後も福祉の充実を図り子供から高齢者まで健康的な町民が増え、安心して暮らせる松田町になる施策を展開して参ります。

また、若い世代の定住化につきましては、幼稚園・保育所における収容施設の確保、小中学校の教育環境整備、若者・子育て世代優先住宅整備、魅力ある小田急新松田駅、JR松田駅の2駅周辺整備など若い世代が住みたくなる街づくりを推進致します。具体的には、旧土木事務所跡地を女性が輝く社会を目指した女性支援センターとして整備、文化センターを複合施設へリニューアルし様々な世代が行きかう生涯

学習センターとし、松田小学校の木造校舎への建替え工事、人口増加策・収益事業である籠場・町屋の町営住宅2棟の建設、各町有地の利活用による地域の活性化、寄七つ星ヒーリングビレッジ事業の加速、再生可能エネルギー利活用促進による先進的な住環境整備などなどについて、引き続き計画的に進める事で、松田町の魅力をさらにアップしてまいります。これらの具体的な施策を実行していくためには、4つの要素として「町民との協働」「行・財政改革」「シティプロモーション」「官民連携事業推進」が必要となりますので、この要素を未来志向で最先端のICTやAIを活用し、様々な施策と融合しながら日本のモデルとなるIT先進自治体を目指して参ります。松田町には、ハード・ソフトの両面で課題が山積していますが、今回の選択が松田町の未来へ向けて、全ての町民の皆様にご正しかったと言って頂けるよう“オール松田”で取組んで参ります。

最後に、未来を見据えた行政経営を押し進めていく上では、しっかりとした財政運営を行っていく必要があります。人口減少により税収が減ることが予想できますので、人口減少は穏やかに抑制しつつありますが、人口のピークであった平成

7年13,240人の町民がいたころと同様な町民サービス提供は難しいものがあり、今後現状を維持するだけでも、いくつかの課題や条件をクリアしていく必要があります。そこで、町民の皆様への負担を極力抑える為には、これまでの事業をゼロベースで総点検し、スクラップアンドビルドを徹底するとともに、「選択と集中」の考えのもと、メリハリのあがる財政運営を進めることと、「協働」というキーワードのもと、町民、行政、団体、企業が協力し合って一緒に働き汗をかくことが、松田町の未来にとって大切なことであると考えております。これからの4年間、町民並びに議会の皆様のご理解、ご愛顧を賜り、町政経営に対し更なるご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、議員各位のご指導、ご鞭撻を衷心よりお願い申し上げます、所信を表明させていただきます。